

いざという時…地域の力が何より助けとなります。私たちは災害時にどうしたらよいか、大切なことは何か取材しました。

●藤沢市総務部 災害対策課に地域防災について伺いました。

平成18年度から第3次行政改革に伴い地区防災体制が強化されました。市内13の各市民センター・公民館では災害で電話の不通時に災害対策本部室への情報伝達としてPCやTV会議システムを活用し、地域の災害情報を一早く吸い上げ、伝える地区の防災拠点となっています。そして4月より防災担当の職員を1名配置し、地区の防災訓練を実施したり、災害に早急に対応できるように育成して

「防災で大切なことはどんなことでしょうか?」  
 「防災で大切なことはどんなことでしょうか?」  
 「防災で大切なことはどんなことでしょうか?」



▲総合防災センターの災害対策本部室  
災害時には情報司令室の役割を果たす



辻堂市民センター



明治市民センター



大庭市民センター

めなくなつた場合です。実際に災害が起こると道路や橋、建物の崩壊で防災関連車両は通行できない状態となる。そんな時こそ地域の力が必要とされます。自主防災組織(※)が重要であると考え、各市民センター等でも現在、自主防災組織のない地域に積極的に働きかけています。災害時には、自助・共助・公助の順番でまずは自分の身は自分で守る!自分達の地域は地域で守る!公共機関の救助支援となります。また「災害時には協力してもらえないでしょうか?」(いざという時には水や食料

「要援護者のリストは行政・民生委員等が把握していますが、いざという時にスムーズに対応するためには、自治会単位で情報を事前に把握すること等の対策を考えていただけると助かります。」

- 耐震の建物に…
- 家具等転倒防止を…
- 3日分の食糧と水の確保
- 防災訓練にご参加を!
- 防災グッズは古くありませんか?
- 防災グッズにクツ、靴下も大切です。防災頭巾がなければ布団でOKです。

※自主防災組織=災害時に地域住民が連携して自主的に結成する組織。

●9月3日(日)大庭消防訓練場にて 第30回藤沢市総合防災訓練が実施されました。

「災害に強いまちづくりをめざして」をテーマに、第一回はM7.9の地震発生を想定し、湘南大庭地区の小中学校高校7校で実施した。第二回は総合防災訓練を実施し、湘南大庭地区47自治会の他、自衛隊や建設業協会や土木事務所も含め38団体が訓練参加協力をした。自主防災活動訓練として、消化器による消火訓練、炊き出し訓練、給食訓練、救出



▲写真右 炊き出し訓練 避難所を想定しご飯を炊いて給食訓練  
写真左 パケツリレーによる消火訓練 ボーイスカウト・ガールスカウトも参加



▲応急救護訓練



▲救助犬人命救出訓練

- ◆訓練項目  
 人員輸送訓練・広報訓練・避難誘導訓練・ボランティア支援センター開設運営訓練・情報収集受伝達訓練・ヘリコプターによる情報収集受伝達訓練・道路障害物排除訓練・仮設機建設訓練・緊急物資輸送訓練・応急燃料輸送訓練・応急給水訓練・炊き出し・給食訓練・交通信号機復旧訓練・照明投下訓練・ガス管復旧訓練・水道管折損復旧訓練・応急救護訓練・消化訓練・パケツリレー・消火訓練・人命救助・救助犬人命救出訓練・医療救護訓練・避難施設開設訓練・要援護者避難誘導訓練

●犬を飼っている方はいざという時のためにケージトレーニングを

「神戸・阪神大震災の時にケージに入っても泣き続けないワンちゃんたちは避難所で大人しく家族のそばにいたことができた聞いています。いざという時、地域に迷惑をかけない為にも、ケージに入れるトレーニングをしておきましょう。」(ティンガー・ベル動物病院院長)

●災害の際にはレディオ湘南83.1を

レディオ湘南は藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町と防災協定を結んでいます。地震や風水害などの自然災害時、災害対策本部からの情報を継続お伝えしていきます。

●明治地区 明治地区地域防災の強化始まる

「明治地区自主防災協議センター」長に伺いました。7月に、避難施設運営委員8月に発足し、32自治町自主防災組織の一層の活られます。震度5.5強以上発生時には、地区防災協議部が市民センターに設置し、地区防災協議部からの情報、地区防災協議本部へ連絡し、市災害対策本部へ連絡し対応を目指します。明治、小、羽鳥中、羽鳥小の4箇難施設とされており、且に第一回目の避難施設調査されています。初回の実験がスタートしましたが、地域みなさまのご協力をお願いします。

●辻堂地区 第13回辻堂地区総合防災訓練に参加しよう

「辻堂地区防災訓練は昨00人を超える参加があり、団や地域住民の協力も積極的意識の高い地域です。大庭地区では救助隊の救7%で残りの98.3%が自域の力で救出されています。に地域の力が大切かがわか災害時には、町内会が一時所であり、広域避難場所は大震災の時です。辻堂地区はがけ崩れの心配は少ないが津波の問題があります。津波の可能性のある時の避難場所も指定されています。今年度の防災訓練ではAEDの訓練が初めて追加されました。AEDは資格が無くても心臓発作や不整脈を救助